



★ピアネットマンスリーの発行について

ピアネットマンスリーは各団体の活動状況に合わせて定期的に発行していきます。《ピアネット運営事務局》

KYOPRO

「歩いてキレイにカッコよくなる！本格ウォーキング講座」を実施しました。

11月21日（月）、市ヶ谷キャンパスにて学生センター・課外教養プログラム「歩いてキレイにカッコよくなる！本格ウォーキング講座」を実施しました。講師は、企業主催イベントでの健康ウォークセミナーや都内ウォーキングツアーのメイン講師を担当しているHIROKO氏に依頼しました。当プログラムは、「健康的な歩き方とダイエットに関する話を聞き楽しく知識を深めること」、加えて「それぞれに応じた正しい歩き方を学び、自身の印象をより良くし、それを実践すること」を目的としました。この講座は、90分の授業一コマ分で実施しました。前半はどのような姿勢が健康的でスタイルが良く見えるかなど座学形式で講義を受け、事前に撮影した参加者の歩き姿を全員で鑑賞しました。後半は体を動かして実践して行きました。軽いエクササイズから始まり、和気あいあいとした雰囲気の中、基本の歩き方を中心にご指導いただきました。普段意識しない自身の歩き方に注意を払うので、「難しい」との声が上がリ、中には手と足が一緒に出てしまう方もいるほどでした。歩き方に留まらず、顔の表情、視線へのご指導もあり、参加者が生き生きとした表情で取り組んでいる姿が印象的でした。最後に、受講後の歩き姿を同様に撮影し、受講前と比較し、その変化を全体で共有しました。講師の「美しい歩き姿の意義」への問いかけが、参加者の心にも響いたようでした。

講座を受けた人の感想として「歩く姿勢を見直すきっかけとなった」「実践が多く達成感を得た」との声が上がりました。自身の歩き方を見る機会は少なく、非常にいい経験になったようです。また「就活にも役立てたい」との感想も多くあり、今後に生かせる実践的な講座になりました。

この講座の内容を各々の目標に向かって役立てていただければ幸いです。



「歩き方を見直すには目的を持つことが大切と語る講師



講師指導のもとウォーキングを実践



歩きながら笑顔で集合写真



ボランティアセンター

「猫たちに会いに行こう！～保護猫カフェで学ぶ動物愛護ツアー～」を実施しました。

市ヶ谷ボランティアセンター主催で11月25日（金）に「猫たちに会いに行こう！～保護猫カフェで学ぶ動物愛護ツアー～」を実施し、23名が参加しました。

保護猫カフェとは捨て猫を引き取り、里親を探して譲渡する猫カフェです。その保護猫カフェで実際に猫と触れ合いながら保護猫活動について学ぶことにより、普段動物愛護に関心のないような学生にも動物保護について知ってもらうというのが本企画の目的です。今回は地域の保護猫団体と協力して、保護された猫の里親探しを行うネコリパブリック東京池袋店を訪れました。プログラムでは講師の上野佳世子さんからネコリパブリックの保護猫活動についてお話を聞かせていただきました。そのなかで特に興味深かったのは保護猫活動が飼い主に捨てられてしまった保護猫の引き取りほかに、さくら猫の保護も含んでいることです。さくら猫とは野良猫の繁殖を防ぐ地域猫活動で避妊・去勢手術を施され、耳に目印のカットが入れられた猫です。さくら猫は一代限りの命を懸命に生きており、地域でしっかり管理される必要があります。しかし地域猫活動が適切に行われている地域は少なく、さくら猫の管理が不十分であることなども問題になっているようです。地域猫活動を進めていくためにもさくら猫を保護する保護猫カフェの活動は重要なものだと感じました。

また、保護猫カフェに行くことで、誰でも保護猫活動に関わることが出来るというお話もありました。ネコリパブリックでは売り上げを保護猫活動に充てることにより、来店し猫と触れ合うことが保護猫活動の支援となるような仕組みを取っています。そのようなシステムの保護猫カフェは、普段あまり時間や興味がない人に気軽に動物保護に参加出来るような場を提供するという役割も担っているのだと思います。

その後の餌やり体験では一匹一匹の猫の性格を直に見ることが出来、様々な発見がありました。最初は「保護されてきた猫はおとなしい性格が多いだろう」というイメージがあったので、すぐ人に寄り添ってくる猫やケンカを始める活発な猫もいたことには驚きました。また、その中にはさくら猫もいました。そうした保護猫、さくら猫と実際に触れ合うことで飼い主がいなくて地域で不適切な処理を受けている猫がいるという、普段なかなか考える機会のない問題を身近に感じる事が出来たと思います。今回保護猫カフェに足を運んだことで動物保護に対する学生たちの意識も高まったのではないのでしょうか。



講師から保護ネコ活動に関する取組み説明を受ける参加学生



講師が保護されてきたネコの生い立ちを説明



参加学生が保護ネコに餌やり体験

キャリアセンター 学生サポーター

「就活個別塾！自己分析からわかる あなたのセールスポイント」を実施しました！

12月13日（火）、14日（水）各3,4時限目（各60分）にキャリアセンターで「就活個別塾！自己分析からわかる あなたのセールスポイント」を実施しました。後輩たちの就職活動を支援する「学生サポーター」主催のイベントで、参加した3年生に自身の長所をみつけてもらうことを目的としたワークを行いました。

今後も1月に実施する支援行事に向け、準備に余念がありません！



イベントの様子①



イベントの様子②



学生FDスタッフ

2016年度「学生が選ぶベストティーチャー賞」受賞者を発表しました！

「学生が選ぶベストティーチャー賞」受賞者を12月15日に発表しました。表彰式は12月24日に開催されました。

2016年度「学生が選ぶベストティーチャー賞」受賞者発表

学生のみならず、たくさんの投票ありがとうございました。みなさんの投票により、以下の先生方が2016年度の「学生が選ぶベストティーチャー賞」の受賞者として選ばれました。表彰式は2016年12月24日（土）に行います。

おめでとうございます

最高票数獲得賞・特別賞：後藤 一美(法学部)

2016年度「学生が選ぶベストティーチャー賞」受賞者

狩野 寛 (情報科学部)	鈴木 美伸 (兼任講師)
川久保 俊 (デザイン工学部)	徐 玄九 (兼任講師)
齋藤 範 (兼任講師)	長原 豊 (経済学部)
塩崎 公晴 (兼任講師)	湯浅 誠 (現代福祉学部)

2016年度「学生が選ぶベストティーチャー賞」特別賞受賞者

倉部 真由美 (法学部)
佐野 哲 (経営学部)
柴田 東作 (理工学部)

(五十音順、敬称略)

主催：教育開発支援機構 / 学生が選ぶベストティーチャー賞実行委員会



「学生が選ぶベストティーチャー賞」受賞者一覧

図書館

ライブラリーサポーターのオススメ本が書店に展示されました。本学図書館のライブラリーサポーター（学生）が、選書ツアーで「図書館にあったらいいな」「他の学生にも読んでほしい」という視点で選んだ本と、そのオススメコメントを書いた（描いた）POPを展示したコーナーが、12月1日（木）～22日（木）の期間、紀伊國屋書店新宿本店に設けられました。



展示の様子①



展示の様子②

学習ステーション

学生プログラムを実施しました！

学習ステーション（富士見坂校舎2階）にて学生プログラムを実施しました。

12月のプログラムでは、モノづくりやディスカッション、伝統文化を学ぶプログラムを行いました。



プログラム実施の様子



学生が制作した作品



◆編集後記◆

各ピアネット団体の活動が増え、ピアネットとして情報を発信する機会が増えてきました。

2016年度の活動も残りわずかとなりましたが、今年度はピアネットマンスリー発行回数を増やし、多くの活動を報告させていただきました。

2017年度もより一層多くの活動が報告できることが期待されます。ピアネットマンスリーについてのご感想をお待ちしております。